

節水・節水・節水・節水・節水……

今年の異常渇水は、便利さの中に埋没していた私たちにより教訓を与えてくれました。今まで当たり前にあると思っていた水が、こんなにも貴重で大切なものである事に気づかせてくれたのです。私たちは、この教訓をいかして、節水の励行、中水の利用などを真剣に考え、実行していかなければならないでしょう。そしてこの限りある資源である水を、増やす努力にまで思い至らなければならないのではないのでしょうか。

『水、リサイクルしています。』

トイレの流し水が飲み水と同じだなんて「もったいない」と思いませんか。この水不足の今は、トイレの流し水が一番厄介な給水になっているのではないのでしょうか。我が家は、今年6月に高性能合併浄化槽を設置しました。汚水（トイレの水）、生活排水（風呂、流し、洗濯、その他）の全てを合流させて多種多様な微生物の働きによってきれいな水に蘇らせます。その処理水を再びトイレの流し水、庭の散水にと利用しています。

公共下水道を待つこと20年。ついにしびれを切らし、自家処理できる合併浄化槽設置に踏み切った訳です。

槽の埋設、汚水管のやり替え、雨水との分離と細かい作業は個々に工事され、夢の水洗トイレはたった一日で完成しました。しかも私たちがモットーとするリサイクル型の水環境も同時に実現したのです。それが、石井式合併浄化槽です。

この石井式合併浄化槽を知って10年目になります。愛媛県下でも2社の製品が設置可能となり、越智郡大西町1機、松山市2機、近々松山市に2機設置の予定と聞いています。石井式では、透視度30cm以上をクリアしました。BODも10ppmくらいではないかと予想されます。

保守点検、清掃は任せきりにしないで設置者も立ち合う事が大切なようです。ビデオの操作すら身につかない私ですが、管理士の方に立ち合い、保守点検のしおりを片手にバルブの様子を見て、操作を理解しました。今後は管理士の方、清掃の方とも仲良くして、よい処理水が得られるよう合併浄化槽を大切に使用したいと思います。

多くの方に、リサイクル可能なこの浄化槽の設置をお勧めしたいと思います。また、機会がありましたら、我が家自慢の「浄化君」を見にきてやって下さい。お待ちしております。

(松山市 S・N)

6月25日(土)に行われた佐々木健先生の講演会、6月22日~28日まで開かれたパネル展について、感想をお寄せいただきました。

講演会

「水の講演会」雑感

今年、家族にとって水は一つの関心事でした。今まであった井戸をいろいろな事情で町の簡易水道に全面的に切り替えたのです。

井戸水の良さ(冬暖かく夏冷たい)を当り前のように思っておりましたが、水道水だけという暮らしになってみると、何か一抹の淋しさを覚え、半年過ぎた頃に水の講習会のお誘いを受け、また簡易水道の水質に不安も持っておりましたので参加しました。

佐々木先生のスライド入りの講演を通じて、水の大切さ、生活排水や工場排水の始末がいかに大切なものなのか痛感し、反面重信川の上流地域や上林の水が名水と聞いてうれしく思ったのも事実です。

以前友人と塩素量を簡単に計れる試薬とやらで松山の水道水と重信の水道水を比較したことがありました。まだまだ重信の塩素量は少なく安心しましたが、この水質がずっと守られるようにするには、まず一人一人の暮らし方なのだと佐々木先生のお話を聞きながら自分自身に言い聞かせました。

ゆとりができれば、また井戸を持つ豊かな暮らしをしたいのですが、井戸水もまた水質に不安を感じなければいけない淋しさも味わっています。

地道な一歩、日々の積み重ねが良い環境を創るのならせめて生活排水からでも注意できることは始めなければならないと思い、暢気な母さんの私も一歩踏み出したところで

余談・・・断水という試練の中、益々井戸水が恋しい今日この頃です。

(N・N)

パネル展

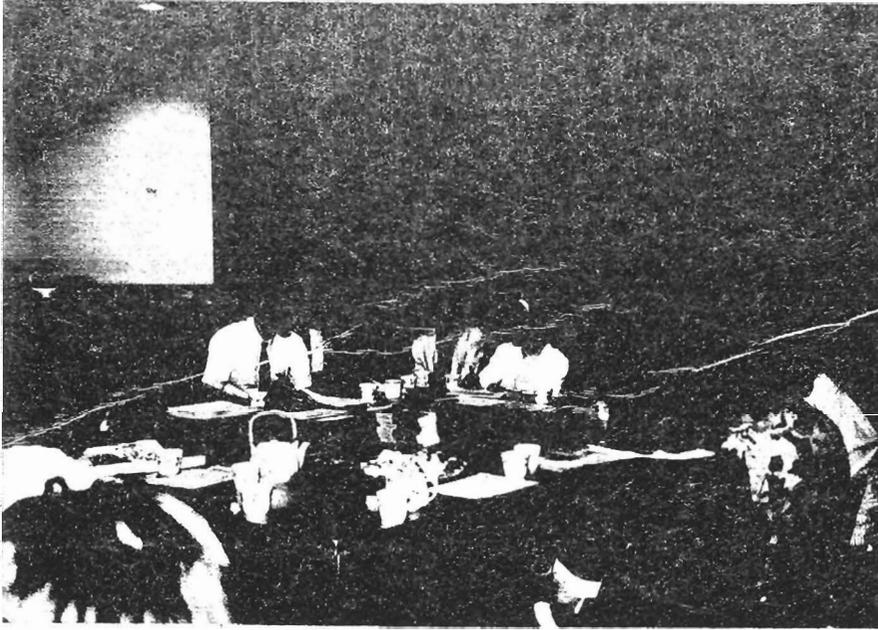
大変よく調べてあるし、わかりやすく・・・と思いましたが、それだけなら、小・中学生の自由研究の秀作です。

2カ月近く立って、なかなかうまく言えませんが、心情的な問題提起ではない何か、何か足りなかったと思います。

パネル展のねらいは何だったのでしょうか。
重信の水は、良い水なんだよ と 知らせること？

2弾、3弾に期待しています。

(一般 M・S)



←講演会のあ
交流会風景

活発な意見交
なされました。

「くらしの学習会」ではこの一年半、水について勉強してきましたが、私達が一番反省したことは、私達自身が重信の水についていかに何も知らなかったか、またこれまで関心を持ってこなかったかということです。

それでパネル展ではまず、重信の水の現状を知ってもらおうという思いが先にたちました。もちろんそのなかには、重信の水が、浄水器など知らないほど都会の水より格段に良質であること。ただし、その良質の地下水も汚染の兆しがあり、減少していること。重信川流域の泉が地下水の表にあらわれたすがたであること。その泉自体姿を消しつつあること。これからその地下水をいかに守っていくか。それには、山や森の自然林の涵養にはじまり、いかに節水をすすめ、また排水に気をつけるかなど私達の水とのつきあい方、また行政には水道や排水処理に関して何をもとめていくかなど問題点もたくさんあります。パネル展では一応それらの点を網羅したつもりですが、現状をまず知ってもらおうとしたため、主張が隠れてしまったのは否めません。全体として、私達の頭もまだやっと現状認識までといったところもあります。

この学習会を単なる勉強会に終わらせないためには、具体的活動をいかに発展させるかが今後の課題でしょう。これからもご協力をよろしくお願いします。

講演・パネル展会計報告

収入の部

5/23 バザー収益 92,600円
 バザー後 袋売上げ 1,200円
 カンパ 10,000円

収入合計 103,800円

差引合計 3,990円

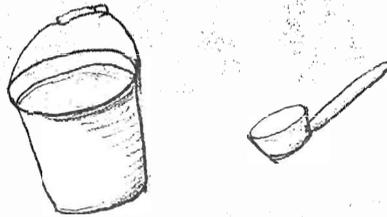
くらしの学習会本会計へ

支出の部

講師謝礼・交通費 40,000円
 講師昼食代 1,500円
 交流会菓子代 7,338円
 写真代 25,121円
 印刷代 14,787円
 通信費 1,330円
 事務費 3,613円
 テープ代 2,611円
 資料提供お礼 3,510円

支出合計 99,810円

ご協力 ありがとございました。



何も踏み出さないよりは、不完全でも一歩踏み出した方がよいのでは・・・と考えて試みたパネル展・講演会でした。いろいろご批判、ご不満はあると思いますが、とにかく一歩踏み出したことを喜んで下さい。

そして、もう一歩。泉の絵はがきをつくりました。その収益は泉の保全に当てることになりました。(次ページをご覧ください。) みんなが、知恵を出し合って考えたもう一歩です。

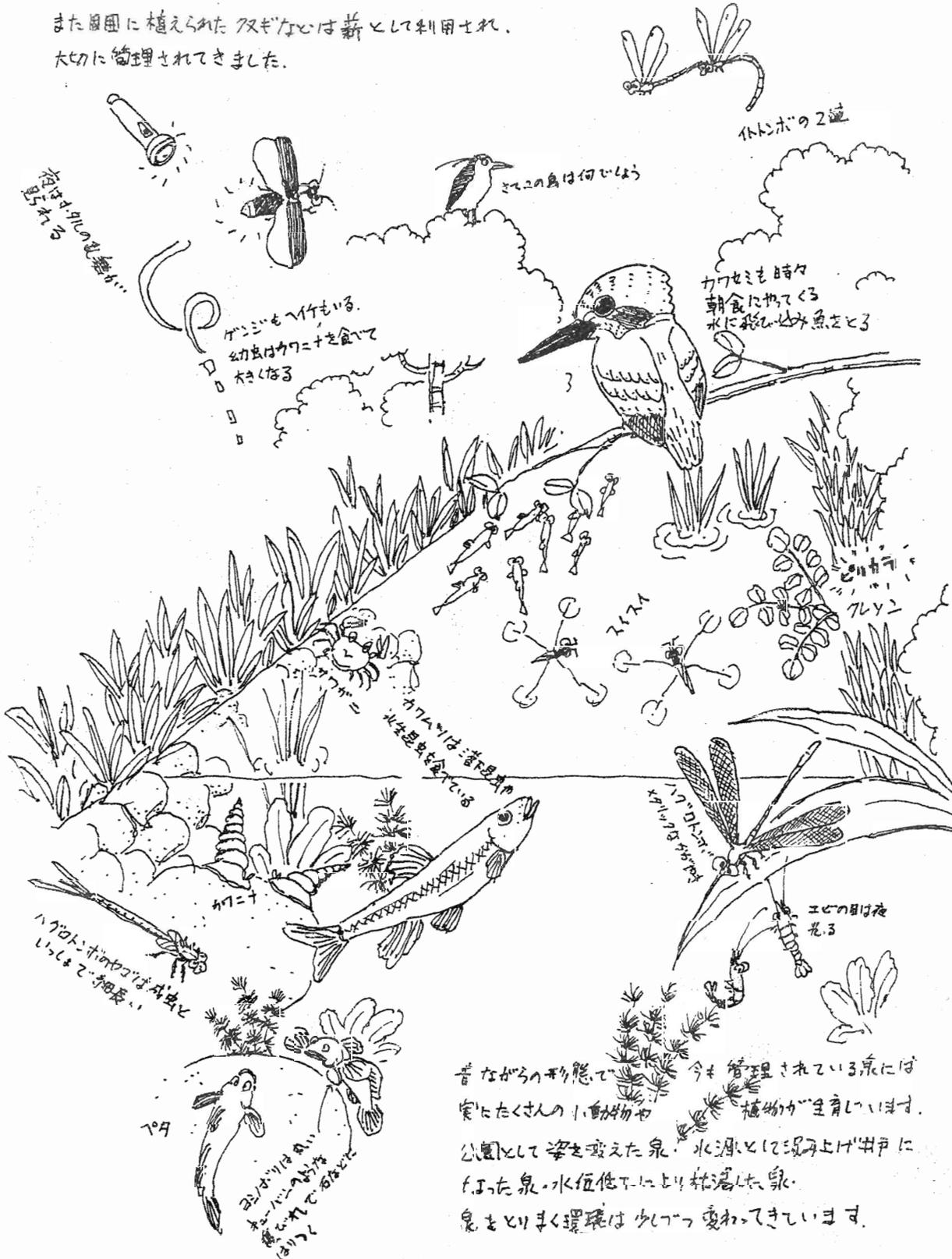
さらに、水についてのアンケート結果と要望をまとめて、町に提出することになっています。”不完全でも、のろくてもとにかく先に踏み出そう”を合言葉に、これからも試行錯誤を重ねながら進んで行きたいと思いません。ご協力をお願いします。そしてどんどんアイデアを出して下さい。



P6 'ひまの場所'は白鳥さんの作です。

泉は水不足を解消するため、近世になってその周辺の
 人口の増によって開発が行われ灌漑用水・生活用水
 また園圃に植えられたアズキなどは薪として利用され、
 大切に管理されてきました。

ひみつの場所



夜は月明の光線が...
 照らされる

ゲンジブも飛び交っている。
 幼虫はカワニナを食べて
 大きくなる

さてこの鳥は何でしょう

イトボウの2遊

カワセミも時々
 朝食に捕ってくる
 水に釣ひしめ魚をとる

カワニナは潜水昆布
 水棲昆虫を食している

イトボウの幼虫は成虫と
 いっしょに泳ぎ

イトボウの幼虫は
 カワニナを食す

エビの目や夜
 花3

709

カワニナは...
 食べられておぼろげに
 残る

昔ながらの形態で、今も管理されている泉には
 実にたくさん的小動物や植物が生育しています。
 公園として姿を変えた泉。水溜りとして汲み上げ井戸に
 行った泉。水質低下により枯渇した泉。
 泉をとりまく環境は少しずつ変わってきています。

愛媛発信の絵葉書作りました

6枚組 350円

”泉”のとおきおきの場所をそっくり絵葉書にしました。
もちろん’道後平野に残る最後の手つかずの自然’を守りたいという切実な思
いからです。

重信川流域の泉とそこに住む生き物たちが主役の絵葉書です。見てみたいナ
と思われる方ぜひ買ってくださいネ

大切にしたい泉の自然



Haguro Tanba
Photographed by Tetsuhiro Shirokita

「1994濁水えひめ」-歴史に残りそうな今年の大かんぼつにも枯れることなく今もこんこんとわいている三ヶ村泉。先人の努力により、今に残された数少ない泉のひとつです。そこは、またくぬぎや自然林、草でおおわれ、トンボをはじめたくさんの小動物や魚のすみかとなっていて、多様な生態系を保っています。

しかし、近年、200近くあった重信川流域の泉は、老朽化や水位の低下により、ポンプ小屋になったり、コンクリートで整備されて、昔ながらの形態を保っている泉はほんのわずかです。その残された泉も、今整備の波が押し寄せてきています。

泉は私達の飲み水にもなっている地下水の、目に見える姿です。そこに住む生物たちは、私達の水を見張ってくれているのです。その意味でも何とか泉の自然を大事に残していきたいと思っています。なお、この絵葉書の収益は泉の保全に役立てる予定です。ささやかな試みですが、身近な自然を大事にしたいと思っている方、ぜひお買い求めください。

重信くらしの学習会

林 智子 (64-6956)

丸井美恵子 (64-0828)

一口メモ

ちょっといい美術館・・・玉川近代美術館
越智郡玉川町大野甲86番地-4 (月曜休館日)
コメント-小作品ながら近代洋画史の一環と幅広く分かりやすい作品を集
めています。人口6000人の町の美術館としては信じられない
くらいの内容です。

今後の予定

- ・ 泉の絵はがきの売り出し開始 !
ご近所、お友達にお勧め下さい。私たちの町の私たちの絵はがきなんてち
よっと素敵だと思いませんか
- ・ 町議会終了後、町長と面談して水についてのアンケート結果、要望書を提出
します。日時が決まり次第お知らせします。
- ・ その他、随時話題になったり、気になったことを勉強したり、調べたりします。



会員募集中 !

くらしの学習会では、一緒に活動する仲間を募集しています。会費は、年2千円。購読のみ希望の方は千円です。いつでも入会できます。

お問い合わせ

くらしの学習会

重信町西岡599-68 丸井方

64-0828

あるいは 64-6956 (林) まで

編集後記

今回は、異常渇水で、重信町北吉井地区では、夜8時~翌朝11時まで断水の中編集しました。水の大切さをつくづく思い知らされました。断水が、解除されても、節水は常に心がけなければと思っています。"水"のテーマは、これからも、たとえ他のテーマを勉強し始めても、もち続けていかなければいけないと思います。

(T)